

学校教育目標	○輝く心 信じ合う仲間 大きな希望 ・人の話を素直に聞き、積極的に粘り強く学び続ける子どもを育てます。(知) ・自分も友達も大切に思いやりのある子どもを育てます。(徳) ・心と体を鍛え、自分や人の生命を大切に子どもを育てます。(体) ・地域のものや人を大切に、共に生きる子どもを育てます。(公) ・よりよい環境について考え、実践しようとする子どもを育てます。(開)				
	創立 58 周年 児童生徒数: 594 人	学校長 鈴木 陽一	副校長 海邊 浩明	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 11
学校概要	主な関係校: 舞岡中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	舞岡中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・主体的に考え、行動する力 ・粘り強く学び続ける力 ・自分を大切に、相手を思いやる力	舞岡中学校 舞岡小学校 東戸塚小学校 柏尾小学校	・主体的・協働的な学びを通して地域を愛し、命、心、夢を大切に成長する子ども ○主体的・対話的な学びを積極的に展開し、小中が連携・協働して深い学びを推進する。 ○思いやりの心育てる学びを学校の教育活動全体を通じた道徳教育で取り組み、小中合同研修等で連携して推進する。 ○夢を実現するための学びを、小中一貫すべての教育活動から推進する。

中期取組目標	○子どもが自ら課題を見つけて考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する力を育成します。 ・一人ひとりが課題をとらえ、見通しをもって学習できるような授業づくりをしていきます。 ・教科担任制を行い、教材研究に励み、学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進します。 ○友達と関わり、試行錯誤しながらやり遂げる力を育成します。 ・基礎基本の確かな学力の習得を図り、スモールステップでめあてに向かって努力する姿勢を育てます。 ○自分の良さ、友達の良さに気づき、お互いを大切に子どもを育てます。 ・全教職員が子どもたち一人ひとりの理解を深め、チームで対応し、安心して学校生活を送れるようにします。 ・日々の観察とデータを活用しながら、子ども一人ひとりの変化を捉え、学びの充実に生かします。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 学習指導	①個別最適な学びや自由進度学習などを取り入れて、学び方を選んだり、調整したりすることができるようにする。②校内授業研究では、国語科を中心として、子どもに選択場面や交流の場を工夫するなど教師によるコーディネートをすることで、自ら考えをもち主体的に学ぶ力を育てることができるようにする。
担当 教務・重点推進	
徳 豊かな心	①道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進し、豊かな心の育成を目指す。②ペア学年での交流活動の中で、リーダーシップの育成や自分の目標とする姿を想起できるように活動の充実を図る。③自分の思いを書いたり、話したりする活動の中で自分自身を見つめることができるようにする。
担当 道徳教育推進	
体 健やかな体	①体育学習や運動委員会による集会を軸に、子ども主体で体を動かし、運動に親しめるように努める。②各教科・領域や、食育部からの「食に関する指導資料」を活用して、継続した食育を行っていく。③ICTを活用した生活リズムチェックを行うことで、規則正しい生活に向けての改善を図っていく。
担当 体育部・食育担当	
公 自分づくり教育 (キャリア教育)	①「自分づくりパスポート」を活用して、1年間のめあてを考えたり、学期ごとに振り返りをしたりできるようにする。②あいさつ運動を全校で取り組むことで、学援隊の方、地域の方、教職員、友達など人との関わりを大切にできるようにする。
担当 特別活動	
いじめへの対応	①「いじめをしない自分」になるために何ができるか、何を大切にしていけるのかを、児童が主体的に考え続ける場を意図的に設定する。②児童理解の共有を児童指導打ち合わせやいじめ防止対策委員会で行い、全教職員で連携して対応し、再発防止に努める。③全児童との個人面談やアンケート、健康観察等で困り感をキャッチする体制をつくる。
担当 児童指導部	
人材育成・組織運営(働き方)	①組織力を生かして課題の解決を図る(全教職員で全児童を育成する学級・学年経営)②教科担任制を行い、教材研究及び準備の充実を図る③業務改善を意識し、ICTの活用によって時間外在校時間を減らしていく。④メンター長(主幹教諭)を新たに設置し、メンター研修の内容を充実させ、組織的に人材の育成を図る。
担当 教務部	
地域学校協働活動	①学校教育目標の実現に向けた具体的取組を学校・家庭・地域が共有し、保護者や地域住民のよりよい学校づくりを推進する。②学校地域コーディネーターを中心に保護者や地域人材の活用を図り、児童の思いや願いを取り入れながら、今までの活動をさらに充実・発展させるように協力して取り組む。
担当 教務部	
特別支援教育	①児童指導の打ち合わせを活用し、対応策等の情報共有を行う。②専任、級外、個別支援学級、一般級と連携を取り、個に応じた支援を行う。また、教育委員会や医療、関係機関との協力・連携を図っていく。③特別支援教育充実のために、教職員研修を設定する。
担当 特別支援	
ICT教育	①一人1台端末の管理・運営を含めたICT環境の整備を図る。②端末を学習ツールとして学習効果が高まるような教科指導の蓄積・拡充を図る。③端末活用のためのルールを周知を行い、児童が適切な使い方ができるようにする。④端末持ち帰りを実施していく。家庭でタブレット端末を用いた学習効果のある活動の蓄積・拡充を図る。⑤教職員のための定期的なICT研修を行う。
担当 GIGA部	
担当	b10